



愛知県議会議員  
鈴木 正

# 年頭の ごあいさつ



幸田町長  
近藤 徳光

幸田町の皆さん、あけましておめでとございます。健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年、本県においては、念願の2大事業であった「中部国際空港」の開港、そして「愛・地球博」愛知万博が開催され、将来に向け飛躍のための大きなスタートの年でありました。一方、行政面では、地方分権や行財政の構造改革などにより、全国的に市町村合併が進み、額田郡でもともに歩んで来た「額

また本町では幸いにして大きな災害もなく安堵しておりますが、国の内外では台風や地震等が各地で続発し、とりわけアメリカのハリケーン、パキスタンの地震などで惨状を極め多くの方がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、ひるがえって町政を顧みますと厳しい財政状況ではありましたが、

新年あけましておめでとございます。町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日ごろは町政推進に深いご理解とご協力を賜っており厚くお礼申し上げます。

昨年は、中部国際空港の開港に続き21世紀最初の国際博覧会「愛・地球博」が2200万人の入場者を記録し、元氣な愛知が注目をされた年でもありました。本町においてもカンボジアとのフレンドシップを通じ交流を図るとともに、町内全小中学校児童生徒が万博会場を見学し、国際化の理解を深めました。

田町」が、今年1月1日に岡崎市に合併、新生「岡崎市」として誕生し、額田郡内の町村は幸田町が1町となりました。

近年、国内外の情勢変化は大きく、国・県を通じた行財政状況など、市町村を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。とりわけ私たちの日常生活に関係の深い福祉、環境、教育など少子高齢化が進行する中で、その早期対応が迫られています。

幸田町は、自然環境にも恵まれ、県

新消防庁舎の建設オープン、深溝跨線橋、逆川橋の橋梁耐震補強工事など一連の防災事業を重点的に進めることができ、また一般廃棄物最終処分場の建設工事や深溝小学校の増築、弓道場建設工事等も手がけました。そしてまた、町民会館・プール、シルバー人材センター等、公共施設を民間に委託する指定管理者制度の道も開くことと致しました。

今日、町村を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、特に合併の動きは急速に進んでおります。昨年暮れにあつた町村数は1388で今年3月末には1044になる見込みであります。国が補助金を削減し地方へ財源移譲する三位一体の改革も、昨年暮れ政府において決定され、一定の評価がされました。しかしその内容は充分でなく、末端市町村の負担がさらに増加することが懸念されます。

今後益々地方分権が進み自立・自己責任を果すことが求められ、持続可能なまちづくりを進める上で、さらなる行政改革は最大の課題であります。今

年は幸田中学校体育館・中央公民館の建設、荻谷小学校の増築を控えております。そして特に本町が取り組む大型プロジェクト、新駅関連相見土地区画整理事業、幸田駅前再開発（中心市街地活性化）、国道23号周辺開発（道の駅）、広田川治水対策は、発展する本町の都市基盤整備上欠くことができず、引き続き積極的に取り組んでまいります。

内の市町村の中でも活気にあふれた、すばらしい町であります。現在工事中の国道23号（名豊道路）も来年の春には、芦谷インターチェンジとして、国道248号に接続され、産業経済の幹線道として幸田町の大きな発展に寄与することになります。おわりに、今年が災害の無い、将来に希望のもてる明るい年であることと、皆様のご多幸を心から祈念し、年頭のごあいさつといたします。

また、環境、教育、福祉の問題に加え、防犯は生命財産を守る上からも防災面とともに安心安全対策上特に力を注ぐ必要があると考えております。私の任期もあと7か月あまりとなります。したが、行政の停滞は許されず、昨年9月に議会の承認を得た第5次幸田町総合計画に沿って、夢と活力があり、住みたくなるまち幸田の実現を目指し、全力で取り組んでまいり所存であります。最後に町民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

また、環境、教育、福祉の問題に加え、防犯は生命財産を守る上からも防災面とともに安心安全対策上特に力を注ぐ必要があると考えております。私の任期もあと7か月あまりとなります。したが、行政の停滞は許されず、昨年9月に議会の承認を得た第5次幸田町総合計画に沿って、夢と活力があり、住みたくなるまち幸田の実現を目指し、全力で取り組んでまいり所存であります。最後に町民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。